

山形の部品加工買収

新光機器、東北で需要開拓

【名古屋】新光機器（名古屋市区、田中英樹社長）は、部品加工事業の拡大に向け、リユー精器（山形県高島町）を子会社化した。溶接用電極を製造する新光機器は愛知、岐阜、大分の3県に6工場を持ち、銅製品や丸物部品の加工を得意とする。印刷機械や自動車エンジン関連の鉄部品、角物部品の加工を手がけるリユー精器を傘下に収め、東北地方の自動車産業などの需要を取り込む。

鉄物・角物も対応

日本M&Aセンター 収額は非公表。リユーの仲介で買収した。買収精器の経営陣と従業員

は受け継ぎ、新光機器から役員を1人派遣する。

今後、新光機器はリユー精器を生産拠点の

一つとして活用する。東北や関東における部品加工案件のほか、新光機器が外注している鉄物や角物の加工を担

う。また、リユー精器の生産拠点の取得に伴って、既存工場を再編することも視野に入れる。

新光機器は溶接用電極やナット自動供給装置などの設計から製造まで一貫して行う溶接周辺機器メーカー。2025年3月期のグループ売上高（リユー精器を除く）は約35億円の見通し。今後リユー精器とのシナジーも生かしながら業容を拡大し、5年後にグループ売上高を50億円に引き上げる考え。